

※7. 8. 25 (月) 実施

成人看護学方法論 4 講義終了後単位認定試験 (竹下先生)

1. 肝臓の機能はどれか

- ① 糖の貯蔵
- ② 胆汁の貯蔵
- ③ 体液量の調節
- ④ 体液の pH 調節
- ⑤ ホルモンの分泌

2. 肝細胞癌で正しいのはどれか。

- ① 早期から黄疸が出現する。
- ② 肝硬変を併発していることが多い。
- ③ 特異性の高い腫瘍マーカーは CEA である。
- ④ 我が国では B 型肝炎ウイルスに起因するものが最も多い。

3. A さん (65 歳、男性) は、肝細胞がん (hepatocellularcarcinoma) と診断され、肝右葉切除術を受け、肝切離面にドレーンが留置されています。既往に糖尿病があり、インスリン注射でコントロールしています。

(1) 術後 3 日目になりました。食事開始に伴い指導を行いました。最も適切なのはどれか。

- ① 「食事は薬と考え提供されたものは全部食べましょう」
- ② 「食事は鉄分を多く含むものを食べましょう」
- ③ 「食後は安静にしましょう」

(2) 術後 4 日目になりました。前日は食事摂取できていましたが、黄疸の増強、ビリルビン尿、人格変化、つじつまの合わない言動を認めています。患者の術後合併症で可能性が高いものはどれか。

- ① 術後せん妄
- ② 肝不全
- ③ 術後感染症による敗血症
- ④ 術後出血

4. 肝生検後に注意すべき合併症として最も重要なのはどれか。

- ① 発熱
- ② 出血
- ③ 食欲不振
- ④ 頭痛

5. 肝動脈塞栓術（TAE）を受け、病棟に帰室した患者の看護について正しいものはどれか。

- ① 検査後は点滴を行うため飲水は必要ないと説明する
- ② 穿刺部の出血の可能性は低い~~ため~~穿刺部の観察は不要である
- ③ 治療後の副作用は、腹痛、発熱、嘔気などがあることを説明する
- ④ 治療後はベッド上での安静であるが、下肢は自由に動かしても良いと説明する

6. 肝生検後の看護について（ ）に適切な語句を記入してください。

肝生検により生じやすい合併症には、疼痛や（~~出血~~）、胆汁性腹膜炎がある。穿刺による疼痛は、局所麻酔の薬効が切れることに出現することがあるが、徐々に軽快する。右肩や背部への放散痛がある場合は、（~~肝後出血~~）も考えられるため、バイタルサインの変動に留意する。肝生検後の出血は、検査後（~~12～24~~）時間以内に生じることが多い。

7. 肝臓癌について（ ）に適切な語句を記入してください。

肝臓に原発する原発性肝癌は、95%は（~~肝細胞癌~~）である。治療は、肝機能が良好であれば（~~肝切除術~~）を第一に考慮する。手術を行う場合の切除範囲決定のため肝臓を8区域に分ける（~~ピッツァー・スズキ~~）分類が用いられる。肝癌患者は、慢性肝炎や（~~肝硬変~~）によって肝機能が低下していることが多い~~ため~~、術後肝不全や呼吸不全などの重篤な合併症をおこしやすい。

術後は早期離床が重要であるが、その理由としては、

（ ）（~~腸管運動抑制~~）（~~肺血栓形成~~）などが挙げられる。